

【題目】

中国語の取り立て副詞の意味決定における韻律特徴の役割について

熊本大学大学院社会文化科学研究科

人間・社会科学専攻

博士後期課程 3 年：李智麗

【要旨】

現代中国語の副詞には、同じ文中の位置でいくつかの要素を取り立てることができる特殊な副詞が存在する。これらの副詞は常に文中のある意味的に繋がりのある成分(本稿では「取り立てスコープ」と呼ぶ)と共起しなければならない。取り立てスコープの違いに応じた意味の違いが見られる特徴を有する典型的な副詞としては、「也」、「又」、「再」、「就」、「才」、「都」、「只」などが挙げられる。コンテキストが不明な場合は、これらの副詞が含まれる文は複数の意味に解釈され、文の意味が曖昧になってくる。これは副詞としての位置の制約があり、日本語の取り立て助詞(「も」、「は」、「だけ」、「ばかり」、「さえ」、「すら」「など」など)のように、取り立てスコープとなる句に後続することにより位置のみによって示すことができないからである。取り立てスコープがどこにあるかには、コンテキスト、語順、音韻等様々な要素が関与している。特に、ポーズやストレスのような音韻的な要素が取り立て副詞を含む文の意味決定に深く関わっていると見られる。そこで、本論文はこれらの取り立て副詞の意味決定における韻律特徴の役割を明らかにすることを主眼とする。さらに、中国語学習者に音調の情報が書面からでも分かるように、様々な韻律情報の表記を用いた教授法を提案する。

本稿の構成

本論は以下の六章からなる。

1. 取り立て副詞と取り立てスコープ
2. 取り立て副詞の意味決定における重音の役割
3. 取り立て副詞の意味決定における「弱化」の役割
4. 取り立て副詞の意味決定における「語調重音フレーズ」の役割
5. Praat ソフトによる音声分析
6. 各取り立て副詞の音声パターン

取り立て副詞「就」を例に本稿で導入する「弱化」と「韻律フレーズ」を説明する。

呂叔湘(2003)、郭春貴(2001)によれば、「就」は数量詞と共起する場合、数量が「話者の期待より多い」と「話者の期待より少ない」の両方の意味を表すことができる。コンテキストが不明な場合や音調の情報がなければ以下のような「就」を含む文の意味は曖昧である。

取り立てスコープ

他们 五个人 就搬了 十箱货。

「前方スコープ」(a.) 「後方スコープ」(b.)

a. 彼らは5人だけで荷物を10箱を運んだ。(人数が少ない)
b. 彼らは5人で10箱の荷物しか運ばなかった。(荷物の数が少ない)

従来の研究から、重音がこのような「就」を含む同音異義文の意味解釈に重要な役割を果たしていることが分かっている。取り立てスコープに重音が置かれる。(重音が付加される意味的な単位を重音句と呼び、以下では下線を引いて示す。)

重音

「前方スコープ」：a. 他们五个人重音句就搬了十箱货。
「後方スコープ」：b. 他们五个人就搬了十箱货重音句。

しかし、取り立てスコープ以外の要素にも重音を付加することができるため、二つの重音が存在しうることとなる。この場合、「就」の取り立ての機能による重音はどちらかを確定できず、文の意味を決定することができない。

「前方スコープ」：a-1. 他们五个人重音句就搬了十箱货重音句。

「前方スコープ」	スコープではない
(人数が少ない)	(荷物の数が多い)

「後方スコープ」：b-1. 他们五个人重音句就搬了十箱货重音句。

スコープではない	「後方スコープ」
(人数が多い)	(荷物の数が少ない)

重音だけでは「就」を含む文の意味を決定できない場合でも「弱化」に着目すれば音声的な区別があることがわかる。

重音句に後続する部分が短くかつ弱く発音されることを「弱化」

と呼び、弱化が付加される意味的な単位を弱化句と呼ぶ。以下では下線を引いて示す。

弱化



- a-2. 他们五个人重音句就搬了弱化句十箱货重音句。 → 「前方スコープ」
b-2. 他们五个人重音句就搬了十箱货重音句。 → 「後方スコープ」

重音と「弱化」はポーズにも緊密に関わっている。ポーズを置いてもよい場所に(||)を入れて示す。

ポーズ

- a-3. 他们(||)五个人重音句就搬了弱化句(||)十箱货重音句。
b-3. 他们(||)五个人重音句(||)就搬了十箱货重音句。



実際の会話の中で、ポーズには非常に短いと長いものがあり、中国語の学習者にとって、非常に聞き取りやすいといえない。本稿は「語調重音フレーズ」という概念を提案し、重音、弱化とポーズとの関係を総合的にまとめることができると主張する。「語調重音フレーズ」は重音句を一つ含み、内部にポーズが現れてはならないまとまりである。フレーズ内の重音句に後続する部分は弱化する。「語調重音フレーズ」を{ }で示す。

語調重音フレーズ

- a-4. 他们{五个人重音句就搬了弱化句}十箱货。
b-4. 他们五个人{就搬了十箱货重音句}。



重音

「語調重音フレーズ」

弱化

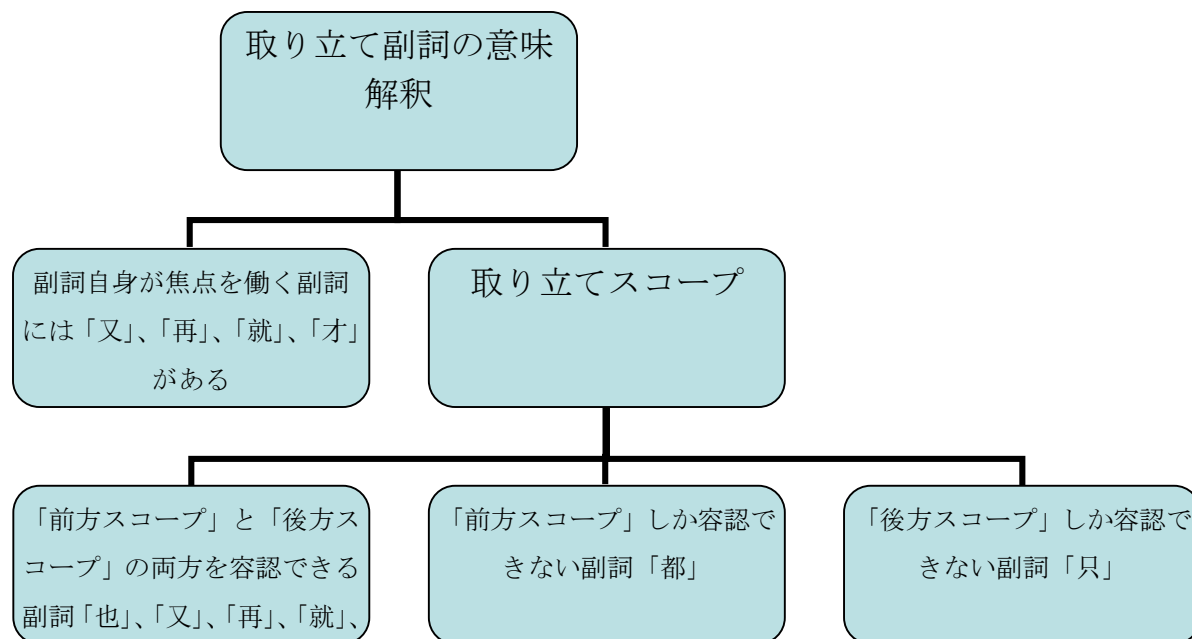
ポーズ

{ || }

フレーズの内部にポーズを置けない。

(||) { } (||)

フレーズの境界にポーズを置くことができる



現代中国語の副詞「也」、「又」、「再」、「就」、「才」、「都」、「只」は一見関係がないように思われる副詞だが、本稿は日本語学の取り立てという概念を援用し、これらの副詞は同じ文中位置でいくつかの要素を取り立てることができるという共通点を見出し、これらの副詞を「取り立て副詞」と名づけた。

取り立て副詞を含む文の曖昧性を解消できる有効な手段は従来の研究で重要視されてきた重音だけではなく、弱化やポーズも関与することを主張し、証明した。これらを統合した概念として、重音句を含む韻律構造として「語調重音フレーズ」を立て、重音とポーズの配置による発音の違いを統一的に説明できることを示した。また、取り立て副詞の意味解釈の違いを生じるような韻律的特徴（重音や重音の後続部分の弱化、ポーズ）を整理したうえで、これらの重音の音声的実現にどのような特徴があるかを、実験音声学的分析にしばしば用いられるパソコンソフト Praat による、母語話者発音の波形とピッチ曲線の分析によって提示した。さらに、様々な音声符号を用いた音声パターンを提案し、中国語学習者は音調の情報が書面からでも分かるような教授法を試みた。